

佐野市景況レポート

令和4年10～12月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <https://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

新年早々、景気は不透明

【 令和4年10～12月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲34.5、前期（9月期）比▲0.6ポイントと、市内事業所の景況感は悪化したままです。

利益DI指数は▲45.6（前期比▲6.9）と悪化しました。売上高DI指数は▲22.9（前期比+5.3）と改善しましたが、原材料・仕入価格DI指数は72.7（前期比▲3.8）、販売価格DI指数は20.5（前期比▲0.7）と、原材料・仕入価格の高止まりと販売価格への転嫁不足等により利益指数は悪化しました。特に、商業・サービス業関係の販売経費DI指数は29.6（前期比+20.2）と大幅増加となりました。

【 令和5年1～3月期 見通し 】

全業種業況DI指数は▲32.6（前期比▲2.7）と、景況感の悪化を予想しています。売上高DI指数▲23.0（前期比+0.4）、原材料・仕入価格指数57.1（前期比▲11.5）、販売価格指数18.1（前期比▲10.4）と、売上DI指数は前期並み、反面、販売価格DI指数と原材料・仕入価格DI指数はともに大幅下落の予想から、3か月後の景況感は悪化する見通しです。

【 事業所等の景況コメント他 】

今回の景況に関するコメントには、原材料・仕入価格、電気料金の高騰がほぼ全業種で記載されていました。特に、前期に比べ電気料金高騰のコメントが多くありました。

昨年12月、日本銀行は金融政策決定会合で、長期金利の変動幅を『±0.25%程度』から『±0.5%程度』に拡大することを決定しました。今回の決定により、金利上昇や円高の可能性があり、今後、日銀の「異次元緩和」修正に注目です。

〔佐野市内における業況天気図〕

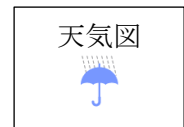
	実 績 (令和4年10～12月期)		見通し (令和5年1～3月期)	
業 況	▲34.5		▲32.6	
売 上 高	▲22.9		▲23.0	
販 売 価 格	20.5		8.1	
仕 入 価 格	72.7		57.1	
労 働 力	▲25.9		—	—

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清 (中小企業診断士)

☆ 業況について（令和4年10～12月期実績）

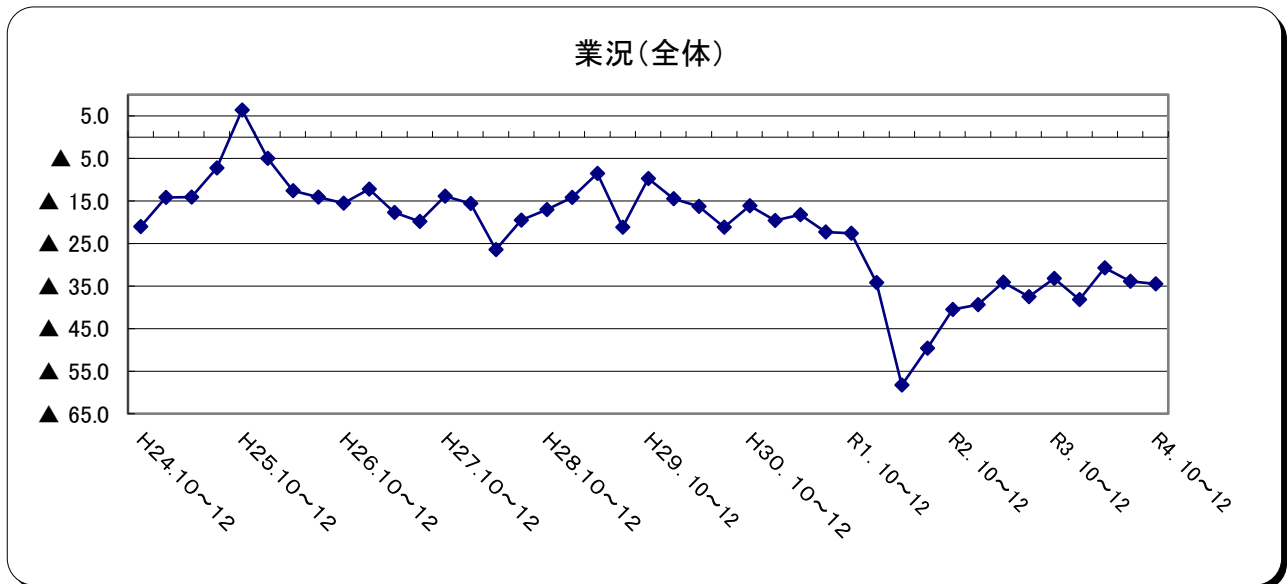


全業種DI指数▲34.5、前期比▲0.6ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ① 建設業▲0.0ポイント、②繊維品製造業▲19.1ポイント、③サービス業▲23.1ポイント、④設備業▲23.8ポイント、⑤機械・金属製品製造業▲27.3ポイント

良い
↑
悪い



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和4年10～12月期実績）



全業種DI指数 72.7、前期比▲3.8ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)100.0ポイント、②飲食店 93.1ポイント、③化学・プラスチック製品製造業 87.7ポイント、④繊維品製造業 80.5ポイント、⑤その他の製造業 80.0ポイント

上昇
↑
下落



☆ 売上高について（令和4年10～12月期実績）

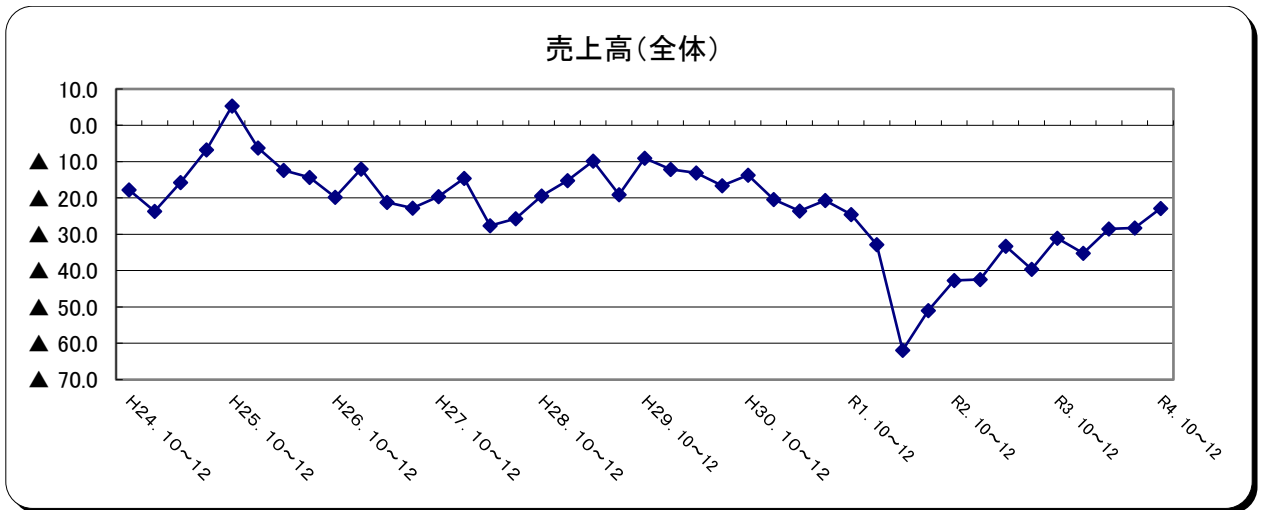


全業種DI指数▲22.9、前期比5.3ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業▲8.6ポイント、②機械・金属製品製造業▲12.0ポイント、③繊維品製造業▲12.5ポイント、④建設業▲12.8ポイント、⑤サービス業▲15.0ポイント

増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和4年10～12月期実績）

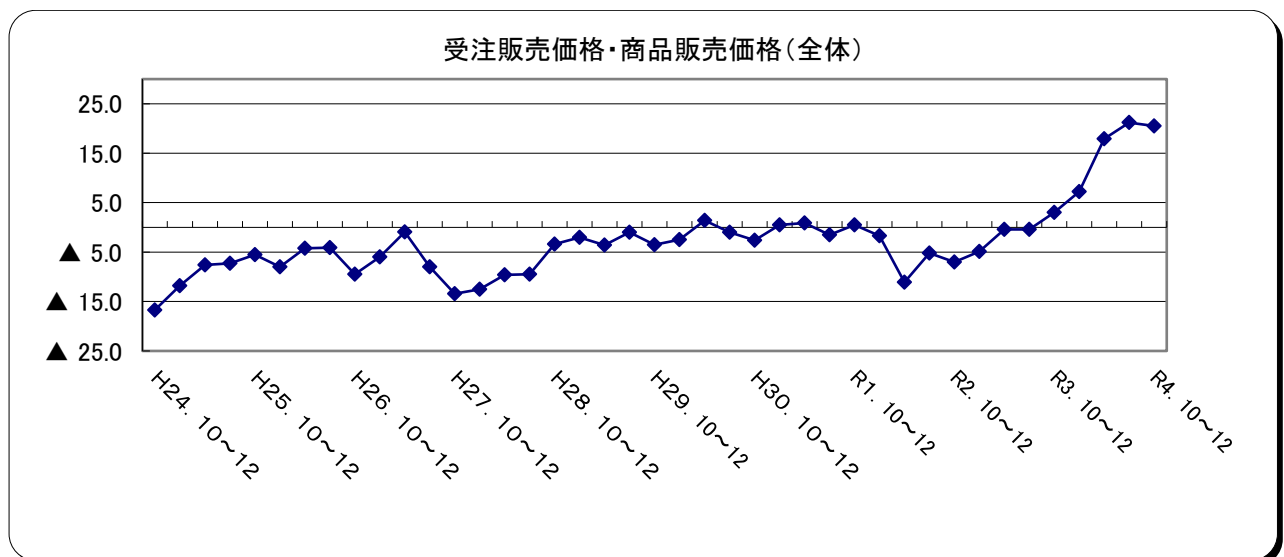


全業種DI指数20.5、前期比▲0.7ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)60.0ポイント、②食品製造業42.9ポイント、③飲食店37.5ポイント、④卸売業34.9ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)29.0ポイント

上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和4年10～12月期実績）

天気図

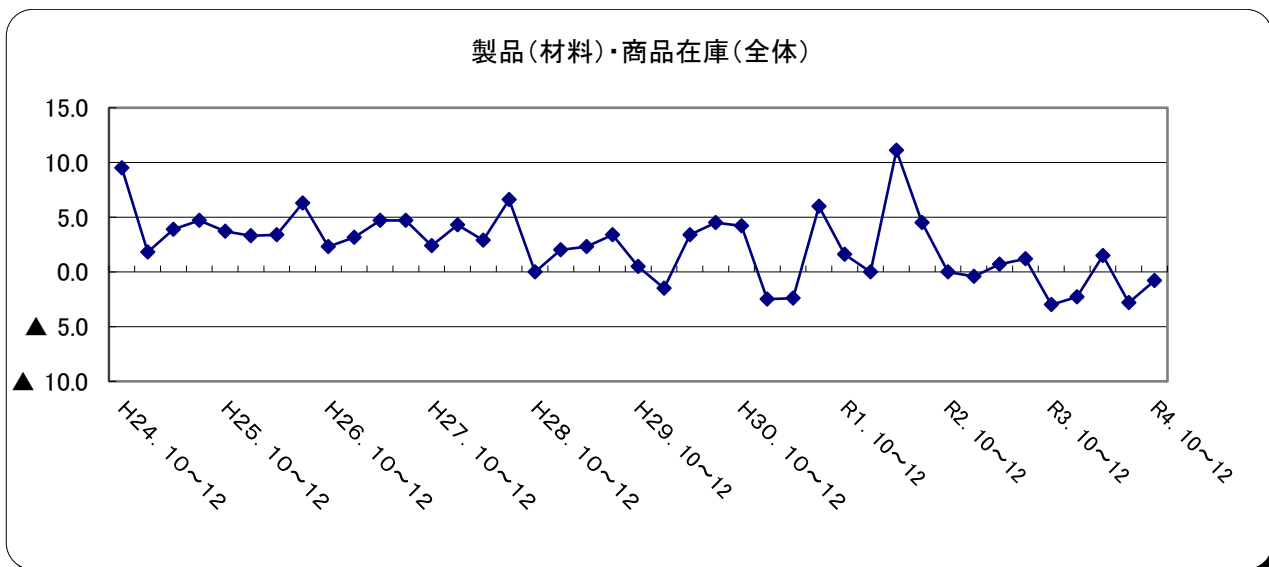


全業種DI指数▲0.8、前期比2.0ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ① 化学・プラスチック製造業 23.7ポイント、②食品製造業 6.7ポイント、③繊維品製造業 5.9ポイント、④機械・金属製品製造業 3.8ポイント、⑤建設業 3.2ポイント

過大
↑
↓
不足



☆ 利益状況について（令和4年10～12月期実績）

天気図

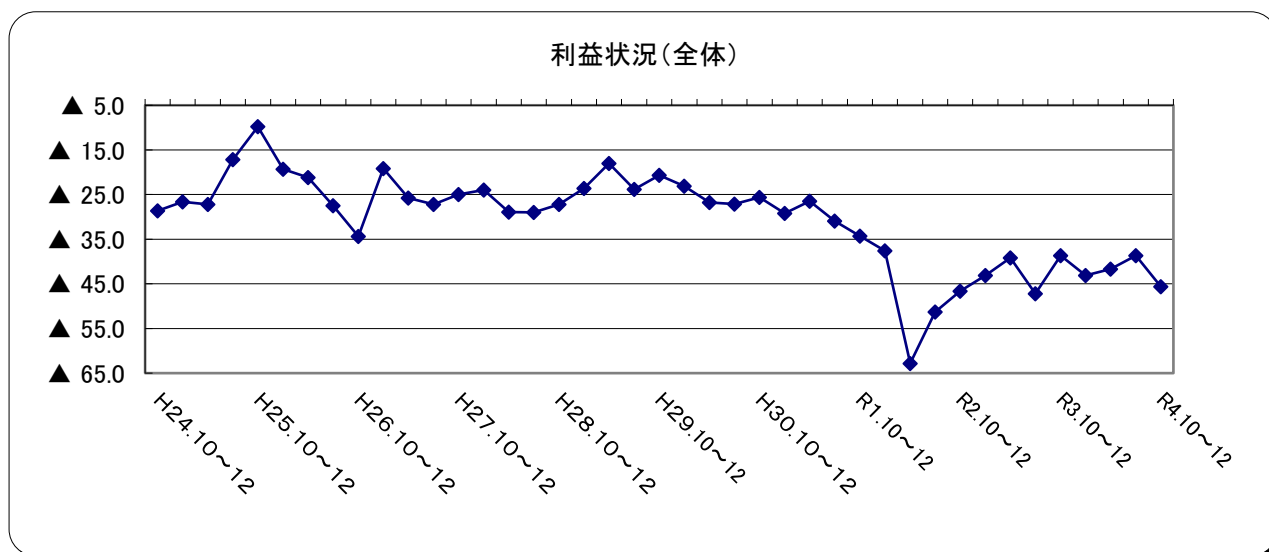


全業種DI指数▲45.6、前期比▲6.9ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ① サービス業▲18.5ポイント、②機械・金属製品製造業▲26.6ポイント、③建設業▲29.7ポイント、④その他の製造業▲35.3ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲40.0ポイント

増加
↑
↓
減少



☆ 資金繰りについて（令和4年10～12月期実績）

天気図

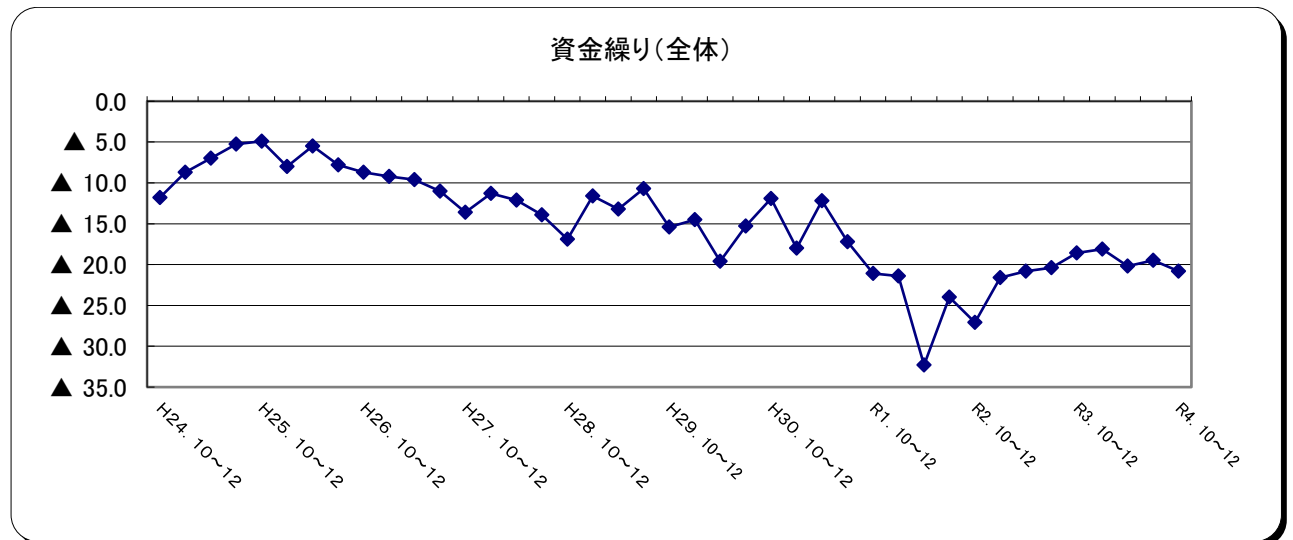


全業種DI指数▲20.8、前期比▲1.3ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ① その他の製造業 0.0ポイント、②建設業▲9.3ポイント、③繊維品製造業▲13.0ポイント、④卸売業▲13.6ポイント、⑤機械・金属製品製造業▲14.6ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について（令和4年10～12月期実績）

天気図

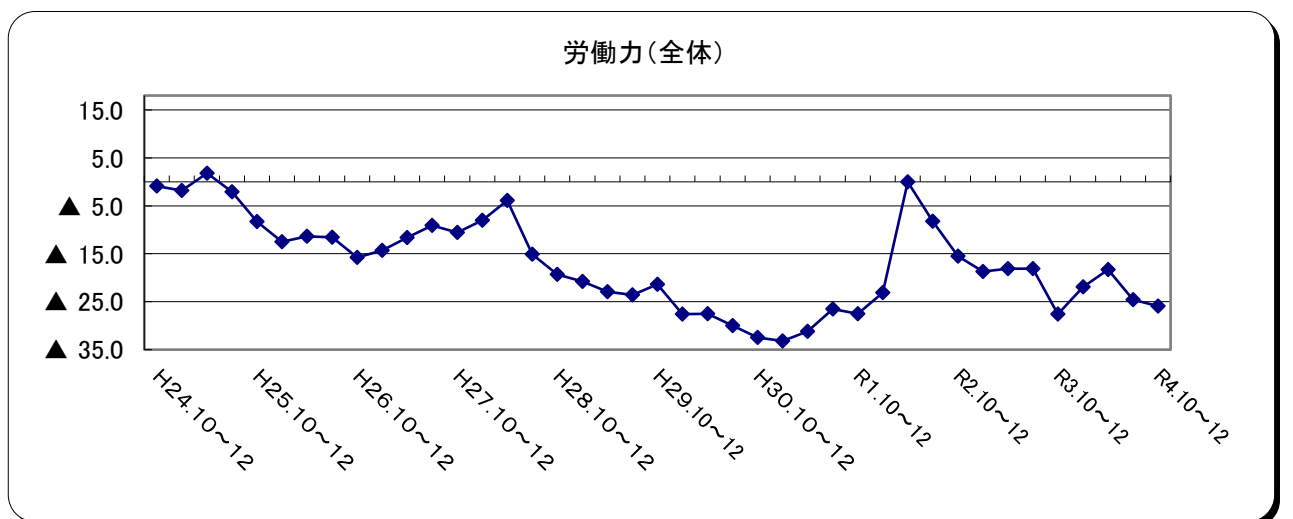


全業種DI指数▲25.9、前期比▲1.3ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 0.0ポイント、②小売業(飲・食料品)7.7ポイント、③繊維品製造業▲12.0ポイント、④サービス業▲18.1ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲18.2ポイント

過剰
↑
↓
不足

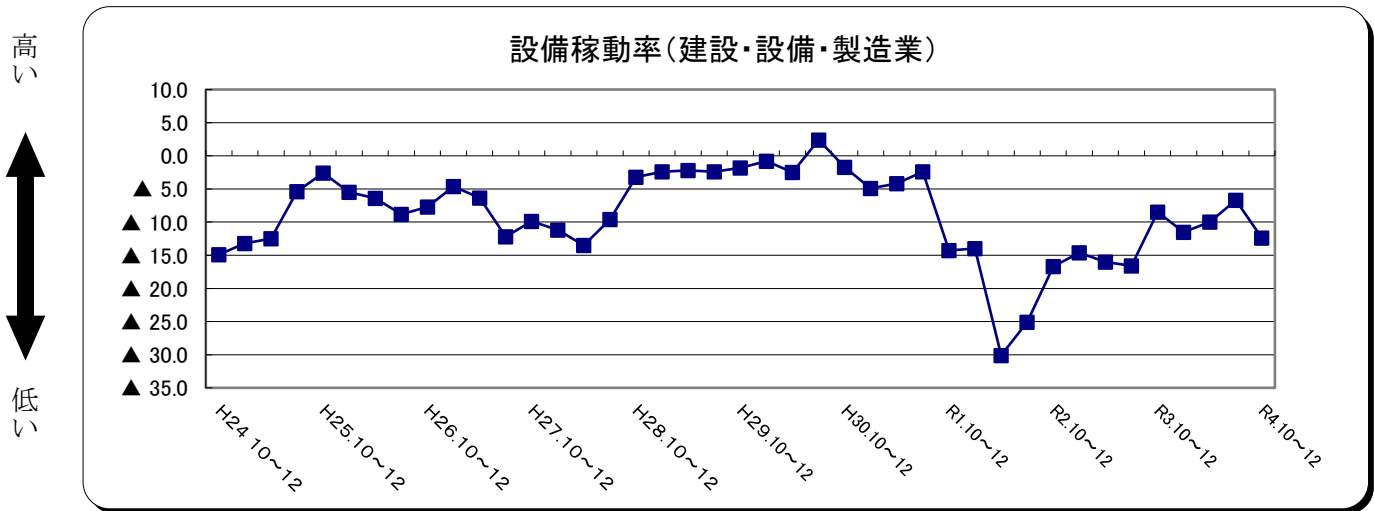


☆ 設備稼働率について（令和4年10～12月期実績）
（建設・設備・製造業関係）



全業種 DI 指数▲12.4、前期比▲5.7ポイント低下
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ① その他の製造業 0.0ポイント、②機械・金属製品製造業▲11.1ポイント、③繊維品製造業▲12.5ポイント、④建設業▲12.8ポイント、⑤設備業▲23.8ポイント

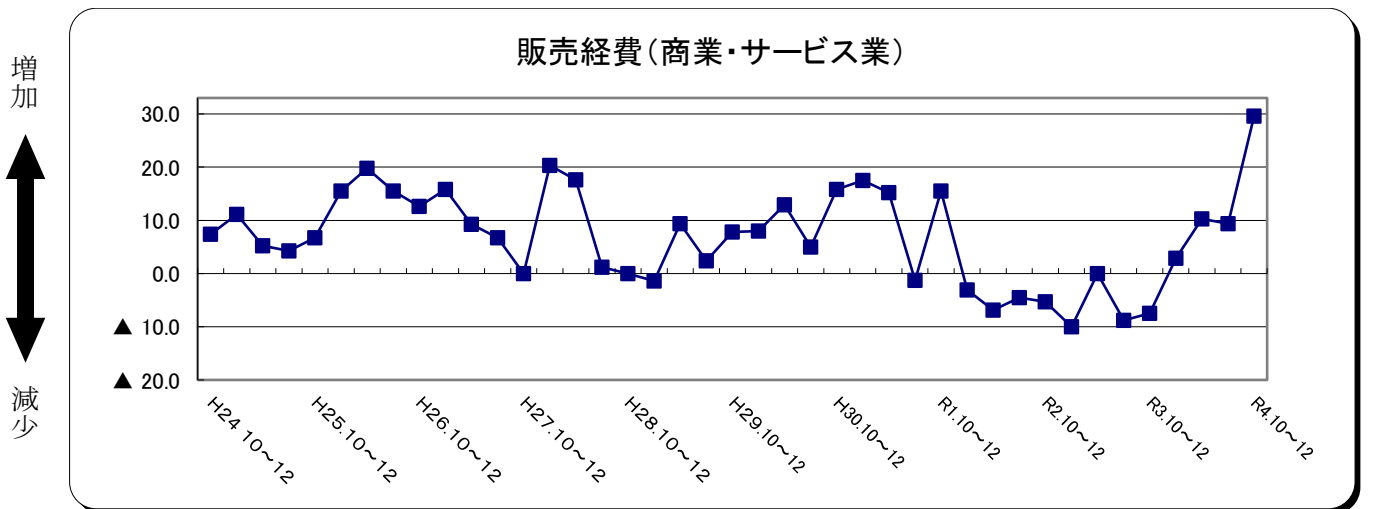


☆ 販売経費について（令和4年10～12月期実績）
（商業・サービス業関係）



全業種 DI 指数 29.6、前期比 20.2ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①飲食店 37.5ポイント、②卸売業 34.9ポイント、③その他の小売業(大型店含む) 33.3ポイント、④サービス業 26.6ポイント、⑤小売業(飲・食料品) 8.6ポイント



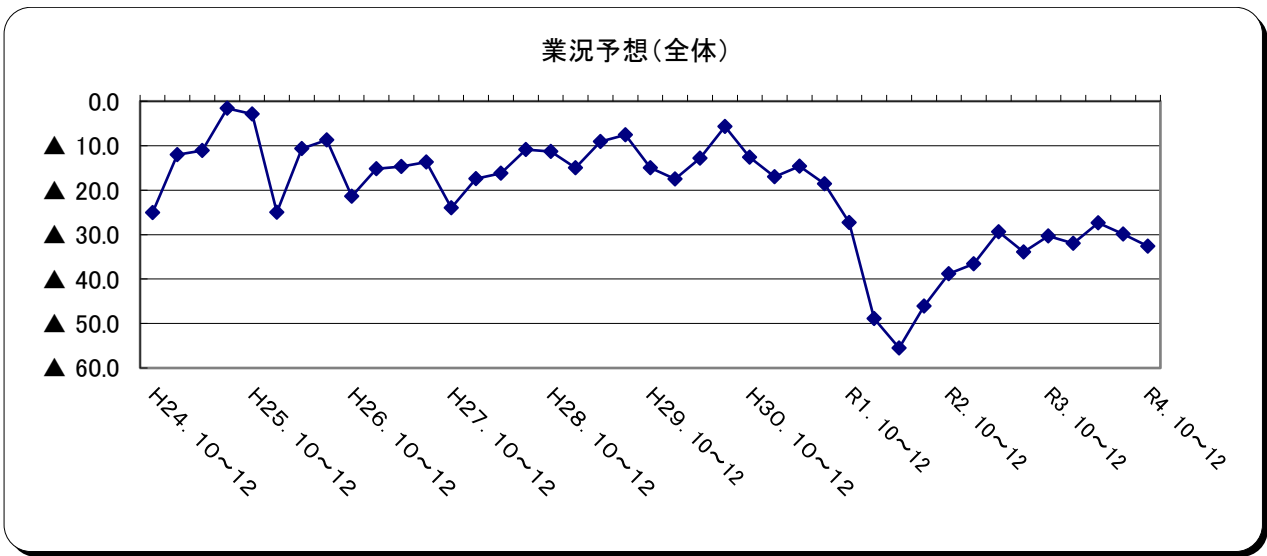
☆ 今後3ヶ月先（令和5年1~3月期の見通し）の業況について



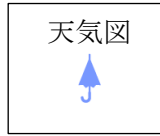
全業種DI指数▲32.6、前期比▲2.7ポイント低下
業種別DI指数（上位5業種）

- ① 建設業▲3.2ポイント、②卸売業▲20.9ポイント、③サービス業▲25.9ポイント、
- ④機械・金属製品製造業▲31.6ポイント、⑤その他の製造業▲33.3ポイント

良い
↑
悪い



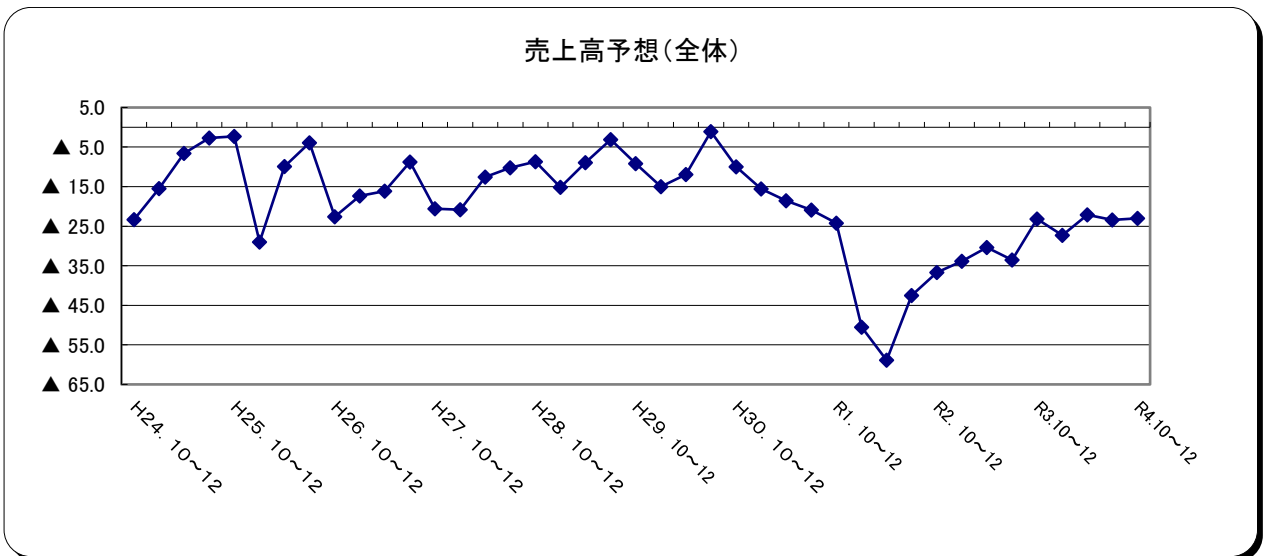
☆ 今後3ヶ月先（令和5年1~3月期の見通し）の売上高について



全業種DI指数▲23.0、前期比0.4ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業0.0ポイント、②食品製造業▲7.3ポイント、③その他の製造業▲8.1ポイント、
- ④設備業▲14.8ポイント、⑤サービス業▲19.0ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和5年1~3月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

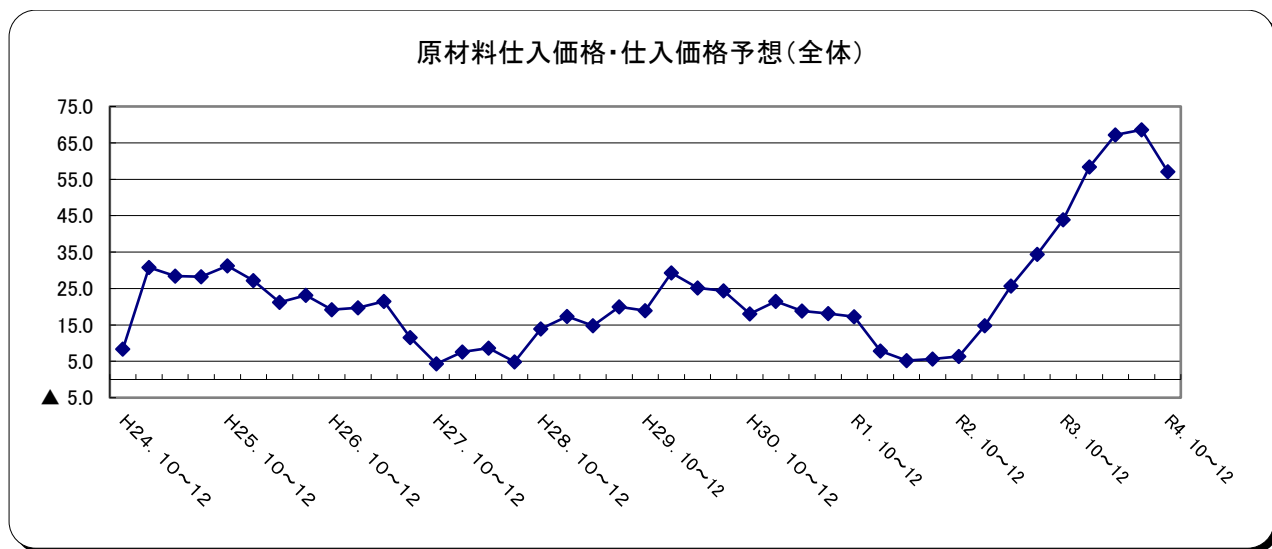


全業種DI指数 57.1、前期比▲11.5ポイント低下

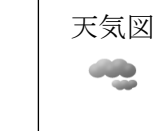
業種別DI指数（上位5業種）

- ① 飲食店 80.0ポイント、②繊維品製造業 71.4ポイント、③小売業（飲・食料品）63.6ポイント、④機械・金属製品製造業 63.4ポイント、⑤食品製造業 60.0ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和5年1~3月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

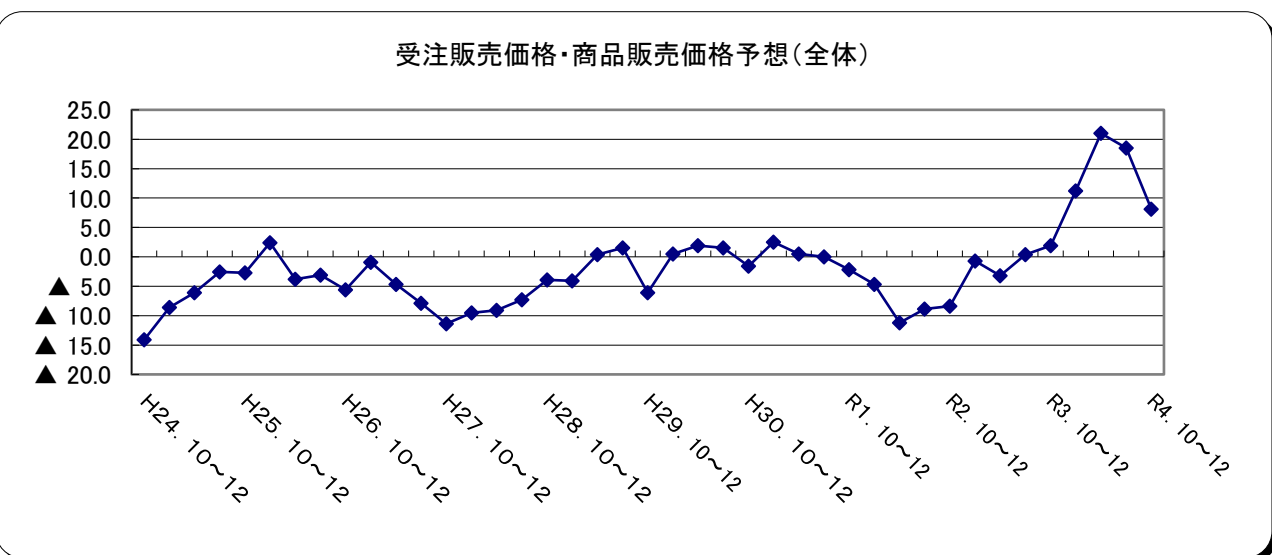


全業種DI指数 8.1、前期比▲10.4ポイント低下

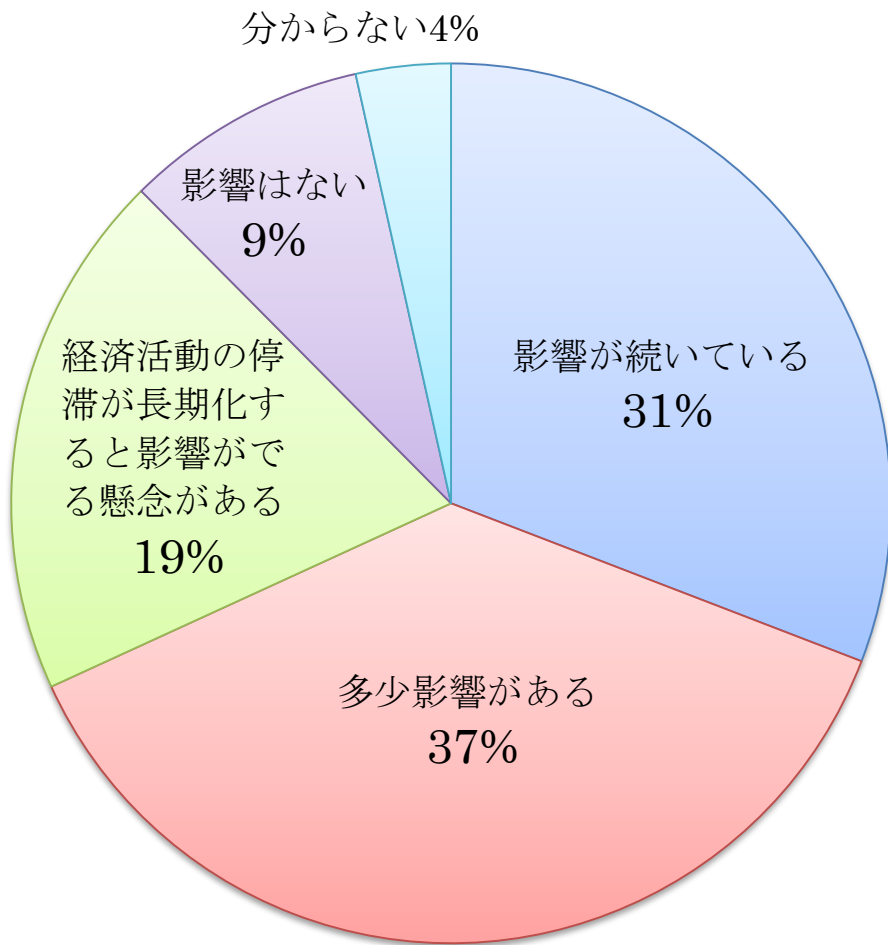
業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 26.5ポイント、②小売業（飲・食料品）25.7ポイント、③サービス業 15.0ポイント、④その他の小売業（大型店含む）9.4ポイント、⑤その他の製造業 8.1ポイント

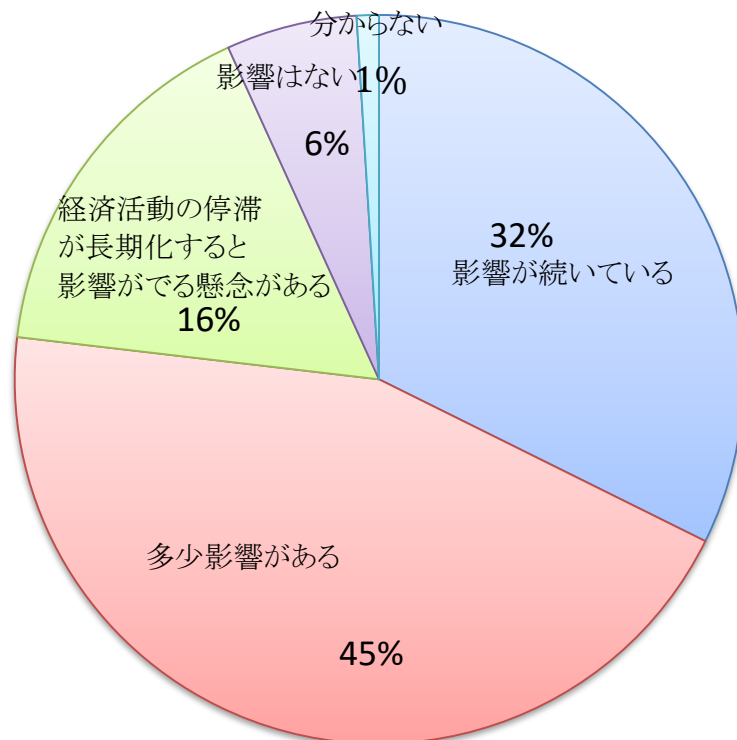
上昇
↓
下落



新型コロナウイルスの影響について



令和4年7月～9月期(参考)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・ 去年の今の時期より受注が増えていると思う。
- ・ 材料などの高騰により物価上昇が最近続いている。又コロナの影響によるすべて控えるような状況で景気が抑えられているように思うので、これから景気が持ち直していくように期待する。
- ・ 比較的業績見通しの良い企業の方が「ものづくり補助金」などが使い易い様な感じを受けます。今当社は車両関係を自己資金の投入をしているので、設備の助成を調べています。
- ・ 住宅着工数の減少により木材の流れがあまり良くない。木材単価的には高騰しているが上り下りが激しい状況です。
- ・ まだまだ安心できないと思っています。

設備工事業

- ・ コロナ禍で先送りになっていた更新投資が活発化すると期待したい。
- ・ 仕入価格の変更(上昇)が続いており、入荷も遅延等がでている。軽微な案件は受注率が高まっているが、大きな案件は停滞している状況が続いている。
- ・ 今も一部の機器が入荷に時間がかかる(3~6ヶ月) ※発注出来ない商品も有り。(大型空調機・ポンプユニット)
- ・ 国内のコロナ治療薬に期待しています。

繊維品製造業

- ・ 電気・ガス代の値上げがきびしい。
- ・ 円安、輸送費、仕入(中国)から上昇し、価格へ転嫁できない。
- ・ メイドインジャパンの要望が増えているが、人や設備、原料が追いつかない。
- ・ 原材料費高騰が早く落ち着いてもらわないと厳しくなっていく。
- ・ 電気代の上昇がとどまるところを知らないです。何とかしてください。
- ・ 資材価格が上昇している。見積時点で回答した見積額と差異が生ずるケースが出ている。
- ・ 現状ではコロナよりも光熱費の高騰が製造業には厳しい。少しでも補助があると助かります。

食品製造業

- ・ 人材の不足が深刻です。商工会議所においても、ハローワークと協働などで、何か施策をお願いします。(マッチング説明会など)
- ・ エネルギー価格が上昇しすぎて、利益を圧迫しています。行政の給付金も非常にありがたいです。しかし、エネルギー価格・材料代全て値上がりで苦しい状況は変わりません。
- ・ 円安、物価高、原油高などなど、大小色々なダメージが日を迫うごとに影響してきている。正直、問題が解決する方向に進んでいないと感じており、良くなるきっかけがない。
- ・ 景気対策しない、景気も良くなってもいないで増税とか言っているが岸田総理にはガッカリです。早く辞めてもらいたい。

機械・金属製品製造業

- ・ 受注が若干ではあるが増加して来たが、長期的かは不透明である。
- ・ 半導体不足(?)などで、バイクが入らない。
- ・ 材料が高騰の為、受注しても利益がでない。増税する前に国会議員の文書、交通費などを廃止しては！
- ・ 今年は不安だらけの一年でした。明るく前向きになれる出来事が少なかった気がしま

- す。来年 WBC に大谷翔平とダルビッシュが出場するのが楽しみです。
- ・原材料、副資材、燃料費が更に高騰。販売価格に転嫁出来ていない。
- ・アメリカの高校生のアルバイトの時給 \$ 20 が相場らしいですよ。

化学・プラスチック製品製造業

- ・電気代の高騰はかなり影響が大きい。
- ・中国のゼロコロナ対策による影響を大きく受けており、中国向けの販売が大幅に減少しています。
- ・化粧品生産のため、コロナウイルス防止のため、マスク使用のため注文が少ない。
- ・コロナウイルス及びロシアウクライナ情勢による影響が引き続き懸念されます。
- ・電気料金が約 2 倍のため利益を圧迫しております。
- ・利益率は少しあがっているが、TOTAL 量が減少。仕事も金もフロー状況が勢い不足かも。長い目標をもつべき状況。
- ・原材料がまだ上昇するとお客様に要求するのが難しい(先月値上げ要求したばかり)

その他製造業

- ・仕入価格の上昇を売価格に転嫁したが不十分。売先の抵抗が強い。仕入価格の戻りを予想したが、高止まりしている。令和 5 年 1 月から家具の需要期になるので、売上は増えるが例年程ではない、不景気だ。
- ・燃料代及び電気代の上昇が業績に大きな影を落としている。
- ・円安、物流費等により仕入上昇、国産下げ傾向。

卸売業

- ・売上高は増加しているが原油価格上昇によるものである。
- ・10、11 月と比べると 12 月は悪そうです。12、1 月より値上げのメーカーが数社あり、セメントも 10 月と来年 3 月に値上げとの事。
- ・価格転嫁が重要です。

小売業（飲・食料品）

- ・11 月くらいから店舗に来るお客さんがほとんどいなくなりました。さとふるは好調です。
- ・いつになったら景況が良くなるのか？
- ・コロナウイルスの影響はすごくあります。
- ・外出を控えているのか、燃料・お店の品物が売れていません。仕入れるたびに値が上がっています。

その他の小売業（大型店含む）

- ・私共小企業は景気よりも他店との競争なので、何らかの知恵を考えたいと思います。
- ・仕入れ金額の上昇、気温が高く冬物が動かない。
- ・令和 5 年 1 月～値上の案内が来ている。値上により注文の数量が減少している。
- ・人通りが少ない。
- ・商品値上げによる生活防衛指向の上昇、電気・ガス代単価上昇により厳しい状況です。年末年始の人の流動拡大による売上増に期待します。
- ・物価上昇で仕入価格の上昇が止まらず、販売価格は全体的に上昇で消費に影響している。しかしながら他社ホームセンターの改装の影響で売上伸長。
- ・コロナ経営環境は第 8 波により今後 3~4 ヶ月患者数、一般診療数減少するのでは不安である。
- ・まだまだコロナの影響ある様です。

飲食店

- ・まだまだ影響が続いています。
- ・コロナの影響で働けなくなる人が毎週かならず出てきて営業時間が少なくなってきている。

- ・物価高騰対策支援金は助かりますが、これから先の状況を考えると販売価格を上げていく方向が良いのか思案中です。
- ・ちまたでは良くなっていると言っていますがさっぱりです。テイクアウト等も努力しておりますが数が少ないので、くたびれもうけという所です。食材の高騰は目に余るものがあります。こんなことで良いのでしょうか。
- ・営業時間は昼、夜の二部制ですが、夜の営業は不振が続いていて売上減少という感じです。
- ・良くない。
- ・仕入価格と販売経費の上昇、来店客数と頻度の減少でしばらくは厳しい状況と思われる。特に夕方以降の家族での利用が減ったように感じます。
- ・原材料費と光熱費の高騰が続く為、対応には限りがある。
- ・コロナの人数が増えている割に人は出ているが、物価上昇により消費者にとっては打撃があり節約が大いに感じられます。
- ・新店舗の工事は大分遅れております。
- ・コロナ以外にも全て色々な面で苦しい状況です。これからもお力添えよろしくお願い致します。
- ・仕入がのきなみ上昇しており、価格転換できず苦しい状況が続いています。
- ・商品券はとても反響があり助かりました。次回も期待しています。
- ・売り上げの上下が激しく、昨今コロナがまた増加していて予約が入っても当日濃厚接触者になったとキャンセルが増えてきて営業が安定しない。
- ・12、1月の予約が増加してきて、コロナ前の6割くらいに戻ったような気がします。
- ・電気・ガスの値上がりに困っています。
- ・仕入価格が日々上昇して大変困っております。メニュー価格の改正が間にあいません。
- ・コロナも長く続くとその生活習慣になれてしまい、忘年会など開催しなくても支障がないようになってしまいます。
- ・夜の予約がほとんどありません。
- ・国縣市より支援金をいただいておりますが、仕入価格の値上がり分にも満たず事業継続に苦慮しております。
- ・コロナより物価高騰対策に重点をおいて支援していただければありがたいです。
- ・電気・ガス・石油・ガソリン…いつまで高値安定が続くのか…。
- ・商工会議所の職員さんに、いつもいろいろな支援情報をいただいて大変ありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。
- ・忘年会の予約は、コロナ前の平年の1/3程度、小集団の飲食は少しずつ増えつつあります。
- ・原油価格高騰や円安による仕入価格の上昇により売価に転嫁できず困っております。

サービス業

- ・わからない。
- ・観光バスは12月から毎日はないが、ツアーでのご利用が開始される。第8波が落ち着いてきたら景況は戻ってくるのではないかと考えている。
- ・インテリア商材が来年より値上りになるので、上手に対応していきたい。
- ・音響機器が手に入りづらい。半導体不足そして値段が1.3~1.5倍になった。
- ・10月は国体があり、宿泊売上は上昇。全国旅行支援の影響は軽微。仕入れ値高騰や最低賃金の上昇による支出が増加し、利益を圧迫している。
- ・売上は増加傾向にあるが、コロナ前に戻ってはいない。春には値上げを予定していること(消費者)顧客の収入減などが聞かれることなど不透明ではあるが、商機はあると考える。
- ・光熱費の値上がりが厳しい。
- ・商品・材料価格上昇・電気代なども。社会の景気は下がり、国の対策は残念でますます下降が予想されるのでは。景気対策何とかしてほしい。
- ・一時より回復した。コロナ前に比較すると減少したままです。
- ・コロナの影響がとっても強く苦しい。
- ・コロナ感染者の再上昇によりご利用の足が悪くなっている。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和4年10月～12月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、201社（回答率69.3%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

$$D I \text{ 方式は、 } \frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100 \text{ により算出}$$

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合せ先 佐野商工会議所経営支援課 Tel（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所